

医療・介護資源調査について

1 調査の目的

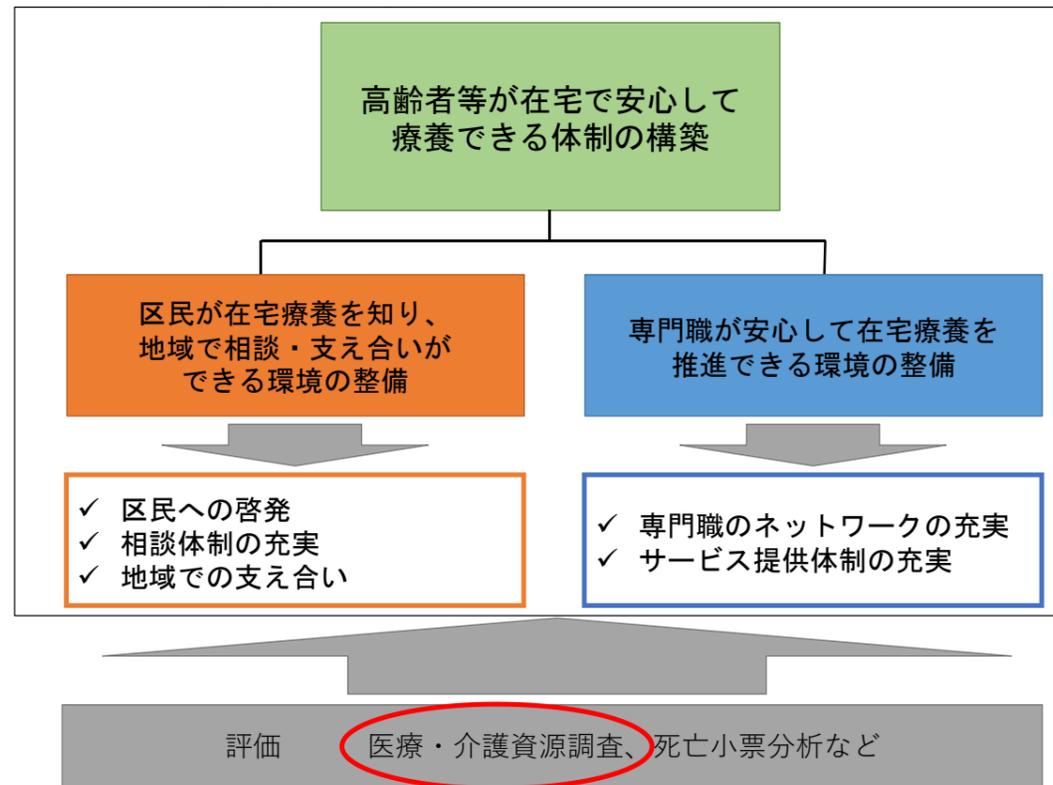
医療・介護資源の現状を経年的に把握することにより、練馬区における在宅療養の環境整備状況の変化を把握し、施策に活かす。

今回の調査では…

- ・ 前回調査の同項目について経年的把握
- ・ 新たな課題に対しての状況把握

2 調査の位置づけ

在宅療養推進事業の課題と取組



3 前回調査（平成 29 年度）結果

- ① 調査対象：病院（地域連携室）（20）、診療所（516）、歯科診療所（459）
薬局（314）、訪問看護ステーション（58）、居宅介護支援事業所（205）
- ② 調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収）
アンケート[チェックボックス式（自由記載は任意）、所要時間 10 分程度]
- ③ 回収率：45.5%

4 主な調査項目

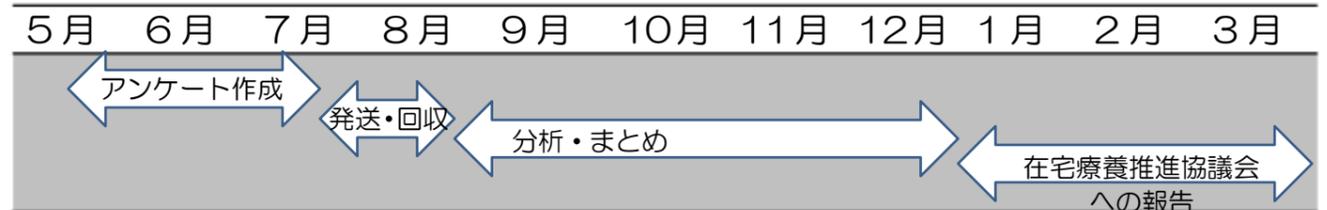
① 前回調査から継続の項目

- ・ 多職種連携の現状
「医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネジャーそれぞれとスムーズに連携ができていますか？」
- ・ 医療・介護サービスの充足感
「医療や介護のサービス提供機関が、必要な時にすぐに区内で見つけられますか？」
- ・ 訪問診療等への対応
「患者が外来で受診できなくなった時はどのように対応しますか？」
- ・ 在宅療養推進事業の認知度
「在宅療養ガイドブック『わが家で生きる』等、区の取組を知っていますか？」
- ・ 在宅療養を推進するうえでの課題
「在宅医療や介護サービスの対応にかかる負担を軽減するために、今後何が必要ですか？」

② 新規追加項目案

- ・ ACP に関する状況
- ・ ICT の利用状況
- ・ 外国人対応の状況 など

5 スケジュール



6 調査への助言

調査票（案）作成後、調査開始前にご助言を賜ります。

7 データの取り扱い

調査の結果はすべて、組織や個人が特定されない形で、公開します。